

事前評価個表

整理番号	15
------	----

地域（地区）名	<small>いぼがわ</small> 揖保川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	兵庫県	対象市町村	<small>しろうし</small> 宍粟市ほか 10 市町
事業実施期間	R6 年度～R10 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、県南西部に位置する<small>なかはりま にしはりま</small>中播磨、西播磨地域の 5 市 6 町を対象とし、県土の 29% を占めている。</p> <p>本地区の森林面積は 181 千 ha、対象民有林は 164 千 ha（森林全体の 91%）、うちスギ・ヒノキを主体とする人工林は 82 千 ha（人工林率 50%）となっており、県平均の人工林率 42% を上回っている。</p> <p>人工林の齢級構成は 9 齢級以上の林分が 94% を占め、地域の森林資源は成熟しており、宍粟市や<small>かみかわちよう</small>神河町など県内の林業を代表する地域では、主伐後の植栽や間伐等の森林施業を適確に実施する資源循環型林業による健全な森林の育成が求められている。更に近年、国土の保全や水源の<small>かん</small>涵養、生物多様性の保全等といった森林の有する公益的機能への県民の関心は高まっており、特に、2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、森林の大気中の二酸化炭素の吸収・固定による地球温暖化の防止への貢献が期待されている。</p> <p>しかしながら、林業採算性の長期低迷やシカ等の獣害の深刻化等により、間伐等の森林整備の遅れや主伐再生林の未実施による林業サイクルの停滞が起こるなど、森林の有する公益的機能の発揮に支障を及ぼしかねない事態となっている。このため、森林整備の担い手となる林業事業体の育成や効率的な森林整備の実施の基盤となる森林基幹道の整備を推進しているところ。</p> <p>本事業は、森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、揖保川地域森林環境保全整備事業計画に基づき、森林整備と併せて、効率的な森林整備の実施に不可欠な路網整備を一体的に実施するものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,880ha 人工造林、下刈り、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：3,707m 林道開設</p> <p>総事業費：6,203,605 千円（税抜き 5,639,641 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=3.19</p> <p>（総便益(B)=20,214,240 千円、総費用(C)=6,340,914 千円）</p>
評価結果	<p>必要性： 森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには、間伐等の適切な森林整備が必要であるため、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 効率的な森林整備の実施に不可欠な路網整備を一体的に実施する計画となっており、費用対効果分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 造林や間伐等の適切な森林整備により、国土の保全や水源の涵養等といった森林の有する公益的機能の維持増進及び木材の安定供給の確保が図られることが期待されるため、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：兵庫県

地域(地区)名：揖保川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	5,067,119	
	流域貯水便益	988,801	
	水質浄化便益	4,759,929	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,720,412	
環境保全便益	炭素固定便益	1,104,963	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	44,078	
	木材利用増進便益	6,162	
	木材生産確保・増進便益	2,466,124	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	3,803	
	森林管理等経費縮減便益	4,523	
	森林整備促進便益	808,628	
災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益	239,698	
総 便 益 (B)		20,214,240	
総 費 用 (C)		6,340,914	
費用便益比	$B \div C = \frac{20,214,240}{6,340,914} = 3.19$		

森林環境保全整備事業 揖保川流域地区（兵庫県）

